



2025 年 11 月 4 日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 v i s u m o
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 井 上 純
(コード番号：303A 東証グロース市場)
問 合 せ 先 取 締 役 兼 執 行 役 員 見 城 壮 彦
TEL. 03-6822-4888

(訂正)「株式会社R e v i C oとの吸収合併契約締結及び 臨時株主総会開催のための基準日設定のお知らせ」の一部訂正について

2025 年 10 月 16 日に開示いたしました「株式会社R e v i C oとの吸収合併契約締結及び臨時株主総会開催のための基準日設定のお知らせ」の内容について、記載事項の一部に誤りがありましたので、お詫び申し上げますとともに、下記のとおり訂正させていただきます。

記

訂正箇所

当該お知らせ 7 ページに記載の計画第 2 期における年の表記に誤りがございました、訂正箇所は下線で表示しております。

【訂正前】

第 1 本吸収合併

3. 割当内容の根拠及び理由

(2) 算定に関する事項

(b) 算定の概要

(前略)

v i s u m o の利益計画においては、大幅な増益を見込んでいる計画年度が含まれています。具体的には、計画第 2 期 (2026 年 3 月期) から第 5 期 (2031 年 3 月期) について、売上高、売上原価 (ソフトウェア償却費を除く。) 及びソフトウェア投資額が前年比 10% 増にて推移するとしつつ販売費及び一般管理費が増加しないモデルを前提としたことを理由として、営業利益及びフリー・キャッシュ・フローが、当該各計画期においていずれも前年比 30% 超の増額となることを見込んでおります。

R e v i C o の利益計画においては、大幅な増益を見込んでいる計画年度が含まれています。具体的には、売上高、売上原価 (ソフトウェア償却費を除く。) 及びソフトウェア投資額が前年比 10% 増にて推移するとしつつ販売費及び一般管理費が増加しないモデルを前提としたことを理由として、計画第 2 期 (2026 年 3 月期) から第 5 期 (2031 年 3 月期) における営業利益、また、計画第 2 期 (2026 年 3 月期) から第 6 期 (2032 年 3 月期) にお

けるフリー・キャッシュ・フローが、当該各計画期においていずれも前年比 30%超の増額となることを見込んでおります。

(後略)

【訂正後】

第 1 本吸収合併

3. 割当内容の根拠及び理由

(2) 算定に関する事項

(b) 算定の概要

(前略)

v i s u m o の利益計画においては、大幅な増益を見込んでいる計画年度が含まれています。具体的には、計画第 2 期 (2028 年 3 月期) から第 5 期 (2031 年 3 月期) について、売上高、売上原価 (ソフトウェア償却費を除く。) 及びソフトウェア投資額が前年比 10% 増にて推移するとしつつ販売費及び一般管理費が増加しないモデルを前提としたことを理由として、営業利益及びフリー・キャッシュ・フローが、当該各計画期においていずれも前年比 30%超の増額となることを見込んでおります。

R e v i C o の利益計画においては、大幅な増益を見込んでいる計画年度が含まれています。具体的には、売上高、売上原価 (ソフトウェア償却費を除く。) 及びソフトウェア投資額が前年比 10% 増にて推移するとしつつ販売費及び一般管理費が増加しないモデルを前提としたことを理由として、計画第 2 期 (2028 年 3 月期) から第 5 期 (2031 年 3 月期) における営業利益、また、計画第 2 期 (2028 年 3 月期) から第 6 期 (2032 年 3 月期) におけるフリー・キャッシュ・フローが、当該各計画期においていずれも前年比 30%超の増額となることを見込んでおります。

(後略)

以上